

フレッシューズゼミ A	担当教員共通 教授 新井健司・講師 鈴木穰（科目主任）
-------------	--

1. ゼミのねらい・概要

本科目は、所属ゼミ生と担当教員、あるいはゼミ生相互の交流を深めるとともに、大学での学修の要諦である専門ゼミ、卒業研究への導入、および本学在学中のキャリアアップの動機づけとしての役割を果たすことを目途に設けられた1年次の必修科目である。コース独自の教育内容を行う柔道整復師コースを除くゼミの全担当教員共通の下記の指針により実施される。

- ①与えられた、あるいは自ら考えた課題をまとめるために必要な情報を収集・取捨選択し、それを口頭報告のレジュメ、レポートの作成へとつなげていくための能力を養う。
- ②学生生活において、日常的に求められる日本語能力を養う。
- ③就職活動を行う際に必要となる基礎的な数的理解力・一般常識を養う。

2. ゼミ計画

1. 履修指導 2. 辞書語彙①動物・植物を使った表現※ 3. 新聞語彙①立憲主義とは※ 4. 新聞語彙②人口減少社会※ 5. 新聞語彙③文化の保護と活用※ 6. 新聞語彙④経済の仕組み※ 7. 新聞語彙⑤変わる世界秩序※ 8. 新聞語彙⑥宇宙への挑戦※	9. 担当教員によるゼミ内融和促進のための企画 10. 担当教員による一般常識涵養のための企画 11. 担当教員による課題作成能力アップのための企画 12. 図書館の活用について 13. 健康保持とネチケツト(全体ゼミ) 14. 防犯・交通安全対策講話(全体ゼミ) 15. キャリアアップのための指導 第1回(全体ゼミ)
--	--

※は、主にテキストをメインとする授業内容。ただし、それ以外でもサブ的に使用する場合があるので、テキストは毎回必ず持参すること。このほか、簡単な数学の解法の手引きも数回、各回 20 分程度の時間で行う。なお、各回の順番は、外部講師来校の都合やゼミ担当教員の方針により変更して実施する場合がある。

また、留学生所属のゼミについては、上記の他に日本語能力向上のための指導を合わせて行う。詳細は、ゼミ担当教員の指示に従うこと。

3. 到達目標

2. に挙げたテキストの内容について理解を深める事、および担当教員・ゼミ生との良好な人間関係が構築できること。

4. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

テキスト、あるいは科目担当教員からの指示事項について毎回 30 分以上の予習、復習を行う。

5. 成績評価の方法・基準

本科目は、テキストを使った全ゼミ共通で行う内容と、全体ゼミおよび担当教員がそれぞれの専攻分野を生かした独自の内容を行う部分により構成される。前者については、定期試験の際に実施される共通テストの点数により、後者については授業時間中の課題に対する取り組み、グループ学習における参加状況等を勘案して総合的に行う。

6. テキスト・参考文献

テキスト：『語彙・読解力検定公式テキスト 合格力養成 BOOK』、朝日新聞社・ベネッセコーポレーション編
参考文献：ゼミ担当教員から適宜紹介される。

7. 受講上の留意事項

本科目で使用するテキストを携行していない場合には授業に参加することができない。したがって、テキストを持っていない受講生は授業の出席を認めない。テキストは必ず購入し、毎回持参すること。このことは、テキスト付属の解答・解説についても同様である。

なお、学期内にすべてのクラスが合同で行う全体ゼミ(セミナー・説明会等)の際には、遅くとも授業開始5分前には入室・着席すること。遅刻すると入室できない場合がある。